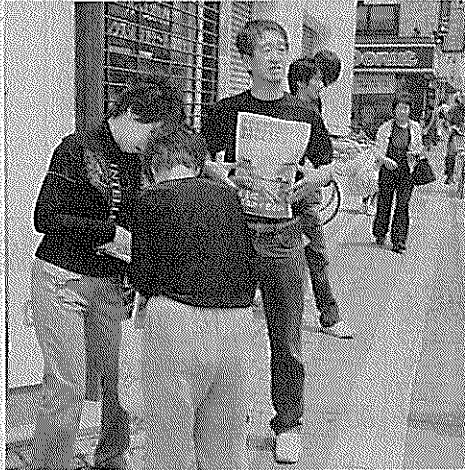


大間原発建設中止を



大間原発建設中止などを求め署名活動を行うメンバー

平和運動 フォーラム 街頭啓発と署名活動

労働組合などで組織する「道南地域平和運動フォーラム」(相沢弘司代表)は19日、函館市本町で、大間原発(青森県大間町)の建設中止と脱原発社会を訴える街頭運動と署名活動を行った。

東日本大震災による東京電力福島第二原発の事故などを

射能の被ばくの恐れもあることから同原発の建設中止も強く訴えた。

街頭では、高橋亨、斉藤博両道議と道畑克雄、小山直子、斉藤佐知子の3市議が演説。フルトニウムとウランの混合酸化物(MOX)燃料のみを使う大間原発の危険性を伝え、再生可能な自然エネルギーへの転換を訴えた。

道の高橋はるみ知事あてにクリーンエネルギー推進や大間原発の建設中止を国に求めることなどを要請する署名活動も行われ、道南フォーラムのメンバー約20人が道行く市民に協力を呼び掛けた。

(鈴木潤)

受けて、上部組織の北海道平和運動フォーラムや道内各地の平和運動フォーラムが脱原発社会の実現と泊原発3号機のプルサーマル計画の撤回運動を展開。

今回の福島第一原発のような事故が大間原発で起きた場合、函館市内や近隣市町も放